

平成30(2018)年度
東京大学大学院情報学環
教育部研究生募集要項

出願期間 平成 30(2018)年 1 月 22 日 (月) ~1 月 25 日 (木)

試験期日 { 筆記試験 平成 30(2018)年 2 月 14 日 (水)
面接試験 平成 30(2018)年 2 月 28 日 (水)

東京大学大学院情報学環

目 次

大学院情報学環教育部研究生制度	1
-----------------------	---

平成 30(2018)年度東京大学大学院情報学環教育部研究生募集要項

1. 出願資格	3
2. 募集人員	3
3. 検定料・入学料・授業料	3
4. 出願手続	3
5. 選抜実施の方法、日時及び場所	5
6. 合格者の発表及び入学手続	5
7. その他	5

(本要項に綴じ込み)

入学願書・受験票

学習計画書

自己推薦書

検定料振込依頼書

検定料振込依頼書貼付用紙

入学試験に関する照会先

〒113-0033 文京区本郷7丁目3番1号

東京大学大学院情報学環学務係

TEL 03-5841-8769, 8768

ホームページ <http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>

大学院情報学環教育部研究生制度

■情報学環教育部とはなにか

情報学環教育部は、情報、メディア、コミュニケーション、ジャーナリズムについて学びたい人々のために、おもに学部レベルの教育を2年間にわたっておこなう、ユニークな教育組織です。講義は、各自が所属する学部の授業などと両立できるように、おおむね午後から夜間にかけて開講されています。

学部、研究科という「タテ糸」で成り立つ東京大学のなかに、情報というキーワードをめぐる教育研究を「ヨコ糸」で縫い合わせてできた情報学環。教育部は、その情報学環という斬新的な東大の組織の特性を活かした、魅力的な学習の場となっています。

情報学環教育部では、毎年、前年度後期に入学試験をおこない、一学年約30名の教育部研究生を選抜します。大学2年生以上であれば、東京大学の学生だけではなく他大学の学生、社会人も含めて受験をすることができます(4月以降大学2年生になる見込みの人を含みます。ただし、4月以降に大学院生となる見込みの人は含みません)。受験資格の詳細は募集要項を参照してください。

■沿革

情報学環教育部の歴史は古く、その起源は、1929年(昭和4年)の文学部新聞研究室にまでさかのぼります。小さな組織だった新聞研究室は、戦後まもない1949年(昭和24年)に、文系の学際的研究組織である新聞研究所へと発展しました。

新聞研究所は、その名のとおり、新聞をはじめとするマスメディアが巻き起こす社会情報現象やコミュニケーション変容を体系的に研究することを目的として設立されましたが、同時に、マスメディアで働く記者などの実務家を育成することも目的としていました。

全国の大学組織の中でここにしかないユニークな制度であり、学生の自治を重んじ、教員や同窓生も交えて自由闊達に議論をする学習の場として発展してきました。

1992年(平成4年)、新聞研究所は社会情報研究所として改組され、マスメディアに限定しない、情報に関わるあらゆる社会現象の研究を進めていくことになりました。それに伴って教育部のカリキュラムも改定されました。

2004年(平成16年)には、社会情報研究所が大学院情報学環と合併して発展的に解消し、教育部はそれまでの伝統を脈々と引き継ぎながら、文理融合型の教育活動を進めてきました。

2012年度(平成24年度)からは、混迷する時代状況や大学を取りまく内外情勢の変化に対応するかたちで改革をおこないました。

このような時代の変化のなかで、自律的で自由闊達な学習の場として情報学環教育部の意義はますます深まっているといえます。

■ 4つの領域

新聞研究所設立以来、情報学環教育部は、情報社会やメディア環境の変化のなかで、その守備範囲を広げてきました。現在、学際的、文理越境的、社会学連携的な環境のなかで、おもに次の4つの基礎的素養を身につけることができます。

- ・メディアとジャーナリズムについて学ぶ「メディア・ジャーナリズム」領域
- ・情報産業の構造や仕組みについて学ぶ「情報産業」領域
- ・情報社会の歴史や現状について学ぶ「情報社会」領域
- ・情報と技術の関わりについて学ぶ「情報技術」領域

■ 情報学環教育部のユニークなポイント

情報学環教育部のユニークなポイントは、次のようにまとめることができます。

- ・文理越境的、かつ実践的で学術的な授業を受けることができます。講義、文献購読、研究指導、実験実習など複数の授業形式を立体的に組み合わせた教育プログラムがあります。
- ・実務、学問における第一線の講師陣がそろっています。
- ・東京大学の学生はもとより、他大学の学生、社会人なども参加できる、異種混浴的で刺激的な学習の場です。多様な学生の履修しやすいよう、開講時間、手段などに工夫を施してあります。
- ・研究生の自律的な学習、表現、研究活動を尊重する伝統があります。
- ・半世紀を超える同窓生の伝統があり、ジャーナリズム、マスメディア、ICT 業界とのつながりが深まります。

平成 30(2018)年度 東京大学大学院情報学環
教育部研究生募集要項

1. 出願資格

- (1) すでに、4年制大学(学部)に在学している者
- (2) 大学を卒業した者

ただし、入学時(平成 30(2018)年 4月時点)に大学院に在学している者は入学できない。

また、学部学生はその学部での学習に、有職者は勤務先の職務に支障がないものに限る。

なお、有職者の場合、勤務先との雇用契約上の問題については自らの責任において処理すること。

2. 募集人員

約 30 名

3. 検定料・入学料・授業料

- (1) 検定料： 15,000 円 (出願時に東京大学に在学している者は不要)
- (2) 入学料： 141,000 円 (予定額) (入学時(平成 30(2018)年 4月時点)に東京大学に在学している者は不要)
- (3) 授業料： 173,600 円 (年額) (予定額) (東京大学に在学している者は不要)

4. 出願手続

- (1) 出願方法：出願は郵送に限る。郵送にあたっては、後記「(4)出願書類」を一括して各自で用意した角形 2 号の封筒 (240mm×332mm) に入れ、書留速達郵便とすること。
- (2) 出願期間：平成 30(2018)年 1 月 22 日(月)～1 月 25 日(木)
(平成 30(2018)年 1 月 26 日(金)以降に到着したものについては、平成 30(2018)年 1 月 25 日(木)までの消印のあるものに限り有効とする。)
- (3) あて先：東京大学大学院情報学環事務部学務係
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
電話 03-5841-8769, -8768
- (4) 出願書類
 - ア. 入学願書・受験票 (本要項綴じ込みの所定用紙)
写真 2 葉は、3 か月以内撮影の正面上半身脱帽 たて 4 cm・よこ 3 cmのものを貼付すること。

イ. 学習計画書（本要項綴じ込みの所定用紙）

- ・ 研究生になって学びたいことがらを 1,200 字程度で記入すること。
- ・ 2017 年度の授業シラバスを検討し、履修してみたい授業を三つ選び、その理由を説明すること。

ウ. 自己推薦書（本要項綴じ込みの所定用紙）

- ・ 出願者自身の学業・職業・社会活動などの経験についてアピールしたい事柄を記入すること。

エ. 検定料（出願時に東京大学に在学している者は不要）

本要項綴じ込みの所定の振込依頼書を用いて最寄りの金融機関（郵便局不可）から振り込み、「東京大学情報学環教育部」入学検定試験振込金受付証明書（C 票）を本要項綴じ込みの所定の貼付用紙に貼り付けること（ATM、インターネット等を利用しないこと）。

振込金受取書（B 票）は領収書なので、大切に保管すること。

オ. 在学証明書（平成 30 (2018)年 1 月現在のもの。）または、卒業証明書

カ. 在籍学校または出身学校の成績証明書

平成 30 (2018)年 1 月現在の身分	必要な成績証明書
大学 1 年生	1 年次の成績証明書
大学 2 年生	1・2 年次の成績証明書
大学 3 年生	< 教養課程、専門課程が区分されている大学 > 3 年次の成績証明書
	< 教養課程、専門課程が区分されていない大学 > 1～3 年次の成績証明書
大学 4 年生 学部卒業生	< 教養課程、専門課程が区分されている大学 > 3・4 年次の成績証明書
	< 教養課程、専門課程が区分されていない大学 > 1～4 年次の成績証明書

キ. 封筒

- ・ 受験票送付用・・・各自で用意した長形 3 号の封筒（120mm×235mm）の表（おもて）に出願者本人のあて先（郵便番号、住所及び氏名）を記入し 362 円分の切手を貼ったもの。

5. 選抜実施の方法、日時及び場所

入学者の選抜は、一次試験及び二次試験による。ただし、二次試験は、一次試験合格者についてのみ行う。

(1) 一次試験

・一次試験の判定は、書類選考及び筆記試験により行われる。

筆記試験日及び場所	時 間	試 験 内 容
平成 30 (2018)年 2 月 14 日(水) 福武ホール 地下 2 階 ラーニングシアター	午後 3 時～4 時	教養課程修了程度の基礎知識を問う問題。 論述問題 1 問

(2) 二次試験

・二次試験は、面接試験を行い、一次試験の内容と合わせて総合的に判定する。

面接試験は、平成 30(2018)年 2 月 28 日 (水) に行う。

なお、面接試験の時間及び場所は、一次試験合格者の発表の際に掲示する。

6. 合格者の発表及び入学手続

(1) 一次試験合格者の受験番号は、平成 30(2018)年 2 月 23 日 (金) 午後 4 時に情報学環本館玄関前に掲示する。

(2) 最終合格者の受験番号は、平成 30(2018)年 3 月 12 日 (月) 午後 4 時に情報学環本館玄関前に掲示する。

(3) 入学を許可された者は、直ちに、本学環事務部学務係で入学手続書類を受け取ること。その中の、入学手続に関する資料の指示にしたがい、平成 30 (2018) 年 3 月 26 日 (月) までに必要な入学手続 (入学料の納付及び入学手続書類の提出) を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(4) 電話、メール等による可否についての照会には、一切応じない。

7. そ の 他

(1) 入学時 (平成 30 (2018)年 4 月時点) に大学院に在学している者は入学できない。

(2) 提出書類は入学者選抜のための重要な資料となるので、正確に作成すること。提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。

(3) 「受験票」及び「受験者心得」は、出願者本人に郵送する。平成 30(2018)年 2 月 9 日(金) までに到着しない場合は、必ず本学環事務部学務係 (後記(10)) に連絡し、受験に必要な指示を受けること。



(4) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本学環事務部学務係 (後記(10)) に申し出ること。

- (5) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和 26 年政令第 319 号)」による、研究生としての入学に支障のない在留資格を有すること。
- (6) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
- (7) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (8) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (9) 提出書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (10) 募集に関し不明な点は、下記へ問い合わせること。

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院情報学環事務部学務係 ☎03-5841-8769, -8768



**平成 30(2018)年度
東京大学大学院 情報学環教育部研究生入学願書**

受験番号	フリガナ	国籍 (外国人のみ)
※	氏名 年 月 日生 男・女	
	ローマ字表記	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 写真貼付欄 最近 3 ヶ月以内 撮影のもの 縦 4cm・横 3cm </div>	在学中 (又は出身) の大学	
	大学	学部
	□	年次 在学中
	□	年 月 卒業
平成 30(2018)年 4 月以降の予定		
注: “○○大学○○学部○年次 在学予定” “社会人” “未定” など教育部研究生以外の活動 予定を記入すること。(平成 30(2018)年 4 月時点で大学院に在学している者は入学できません。)		
現住所	 _____  () _____ Email	
履 歴 [高等学校卒業より記入 (職歴も含む。)]		
年 月	高等学校卒業	
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

【記入上の注意】 (1) ※印欄以外は、すべて記入すること。 (2) □欄は、該当する項目に✓印をつけ、必要事項を記入すること。

----- きりはなさないこと -----

受 験 票 【平成 30(2018)年度】

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 写真貼付欄 最近 3 ヶ月以内 撮影のもの 縦 4cm・横 3cm </div>	受験番号	※
	ふりがな	
	氏名	
	現住所	 _____  () _____

※	氏名
---	----

学 習 計 画 書

(1) 研究生になって学びたいことがらを、あなたの関心、経験などをふまえて 1,200 字程度で説明しなさい。

(2) あなたの問題関心及び学習意欲を判断するため、下記の URL にある 2017 年度の授業シラバスを検討して、履修してみたい授業を下記リストから三つ選び、その番号と理由を記しなさい。

(参考 : <http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/admissions/undergrad-summary>)

注 : 2018 年度の科目及び担当教員は変わる可能性がある。

2017 年度の授業リスト

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ① 情報社会論研究指導 V [前田] | ② メディア・ジャーナリズム論実験実習 V [水島] |
| ③ 特別演習 IV [上條 他] | ④ 情報産業論実験実習 III [倉田・所澤] |
| ⑤ メディア・ジャーナリズム論講義 II [福永他] | ⑥ メディア・ジャーナリズム論文献購読 V [三谷] |
| ⑦ 情報産業論講義 VI [佐藤] | ⑧ 情報社会論講義 II [萩原] |
| ⑨ メディア・ジャーナリズム論講義 I [河原] | ⑩ 情報技術論講義 IV [新井田] |
| ⑪ 情報社会論文献講読 II [河] | ⑫ メディア・ジャーナリズム論講義 IX [松原] |
| ⑬ 情報技術論研究指導 II [苗村] | |

()	理由:
()	理由:
()	理由:

※	氏名
---	----

自 己 推 薦 書

(1)出願者自身の学業・職業・社会活動などの経験についてアピールしたい事柄を記入すること

平成 30(2018)年度
東京大学大学院情報学環
教育部研究生

教育部研究生

「東京大学情報学環教育部」入学検定試験
検定料振込金受付証明書（C票）
貼付用紙

の り づ け

検定料振込依頼書

【志願者へのお願い】

1. 太枠で囲まれている記入欄は、すべて黒ボールペンで記入してください。
2. 必ず窓口で払い込み、ATM、インターネット等は利用しないでください。
3. 三井住友銀行本支店にて振込の場合の振込手数料は無料となりますが、他行から振込の場合の振込手数料はご負担願います。

(太枠で囲まれている記入欄は、すべて黒ボールペンで記入してください。)

A票

振込依頼書

(「東京大学情報学環教育部」検定料)

出願締切日(金融機関取扱期限)
平成30(2018)年1月25日(木)

ご依頼日		科目			
平成	年	月	日	電信扱	手数料
振込先	三井住友銀行 東京第一支店			金額	15000
受取人	預金種目	口座番号	金額		
	普通	9519802	15000		
	(フリガナ) トウキョウダイガク (おなまえ) 東京大学			出納印	
	志願者氏名				
	(フリガナ)				
依頼人	(おところ) (電話)				

【取扱金融機関へのお願い】

1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。

(取扱金融機関保管)

B票

振込金受取書

(「東京大学情報学環教育部」検定料)

平成	年	月	日	金額	15000
振込先	三井住友銀行 東京第一支店				
受取人	トウキョウダイガク 東京大学				
志願者氏名	(フリガナ)				
出納印	手数料				

金融機関で切り離してください

出納印

出願締切日(金融機関取扱期限)
平成30(2018)年1月25日(木)

(志願者保管)

C票

「東京大学情報学環教育部」入学検定試験

検定料振込金受付証明書

平成	年	月	日	金額	15000
振込先	三井住友銀行 東京第一支店				
受取人	トウキョウダイガク 東京大学				
志願者氏名	(フリガナ)				

本人が切り離してください

出納印

(提出用)